

第55回市村賞にて「市村産業賞」を受賞



左から日本製鉄 厚板技術部 主幹 長澤慎さん、鉄鋼研究所 材料信頼性研究部 課長 菅江清信さん、鉄鋼技術部 参与 専門部長 上村隆之さん

日本製鉄は、(公財)市村清新技術財団より第55回(令和4年度)市村賞において、「鋼橋・港湾設備の長寿命化に資する塗装周期延長鋼 CORSPACE®の開発」で市村産業賞を受賞。贈賞式は4月17日に帝国ホテル東京で実施されました。

日本製鉄が独自に考案した腐食計測手法により解明した知見を基に、鋼材に微量のSnを添加することで溶け出したSnイオンにより鉄の溶解反応を抑制し、塗装欠陥部の塗膜剥離面積を従来鋼に対して半減させる塗装周期延長鋼 CORSPACEを開発しました。

CORSPACEは、従来鋼に比べて橋梁の塗装塗り替え期間を約2倍に延長、100年間で3回必要とする塗り替えを1回に削減でき、ライフサイクルコストを大幅に低減可能。また、塗り替え回数の削減で塗料製造に伴うVOC排出も抑制でき、地球環境負荷の軽減にもつながります。

2023 ワールドスチールサステナビリティチャンピオンを受賞



日本製鉄は、World Steel Association(世界鉄鋼協会※)より、2023 worldsteel Sustainability Championを受賞しました。20年と22年に続き、3回目の受賞です。

日本製鉄の環境に対する強いコミットメントと環境方針に基づく各種データの測定・開示、サステナビリティレポートの発行によるステークホルダーへの発信など、サステナビリティに関する行動を総合的に判断いただき、今回の受賞となりました。

日本製鉄の企業理念や価値観、ステークホルダーの皆様からの要請、日本製鉄の成長戦略などを考慮し、重点的に取り組むべきサステナビリティ課題における重要課題を特定し、その取り組み成果を評価する指標(KPI: Key Performance Indicator)に基づいて活動を推進・フォローすることで、より高いパフォーマンスを指しています。

※世界鉄鋼協会：国際的な業界団体で、多様な活動を行う世界鉄鋼業のフォーラム。1967年に創設され、単一の産業活動に取り組む国際機関としては世界初。現在、Regular member(正会員)92社、Affiliated members(賛助会員)51団体が所属。

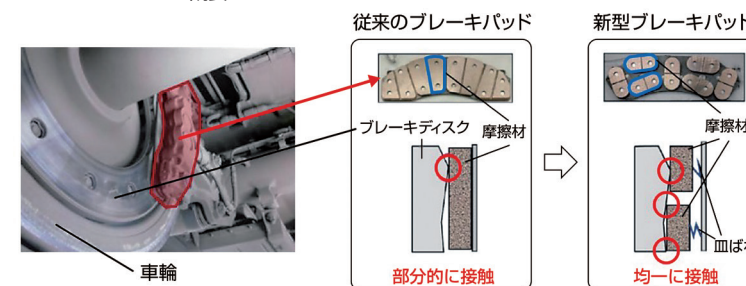
「文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)」を受賞

日本製鉄と東海旅客鉄道株(JR東海)は、「新幹線用新型ブレーキパッド」の共同開発において、「令和5年度文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)」を受賞しました。

従来のブレーキパッドは、高速時に急ブレーキをかけた際に、摩擦材がディスクの熱変形に追従せずに部分的に接触し、ブレーキ力の低下などを誘発する課題がありました。この課題を解決するために、摩擦材がディスクの熱変形に追従して均一に接触する新型ブレーキパッドを開発・実用化し、ブレーキ距離の短縮を実現しました。

日本製鉄は、新型ブレーキパッドの基本構造の設計、FEM解析を用いて構造の最適化を図り、性能を評価。また、JR東海と共同でブレーキ装置単体の基本性能を評価するとともに実車両を用いたフィールドテストを実施し、新型ブレーキパッドの総合的なブレーキ性能および信頼性を評価しました。

ブレーキパッドの概要



日鉄物産に対する公開買付けおよび連結子会社化について

日本製鉄は、市場の構造変化に迅速かつ適切に対応するための一施策として、鉄鋼製造から流通・加工に至るサプライチェーン全体での競争力の強化などを目的に、日本製鉄グループ商社である日鉄物産(株)の普通株式に対し、金融商品取引法に基づく公開買付け(実施期間：本年3月13日～4月10日)を実施し、4月14日付で同社を連結子会社化しました。

日鉄エンジニアリングとの会社分割基本合意書の締結について

日本製鉄と日本製鉄の完全子会社である日鉄エンジニアリング(株)は、日鉄エンジニアリングの製鉄プラント事業の一部を会社分割(簡易吸収分割)の方法により日本製鉄に承継させることに関し、両社の間で基本合意書を締結することを決定しました。

本会社分割は、日本製鉄におけるカーボンニュートラル対応や高付加価値品製造などのための革新プロセス技術の開発・実機導入などを一層推進するために、日本製鉄グループ内の経営資源の最適配置を通じた設備エンジニアリング体制強化を目的として、日鉄エンジニアリングの製鉄プラントセクターが実施している事業(プラントビジネス部が行うコークス乾式消火設備に関する事業などを除く)を、日本製鉄が承継するものです。

ウジミナス社の株主間協定の改定、および同社株式のテルニウム社への一部譲渡について

日本製鉄とTerium Investments Sà r.l.およびグループ3社(総称してテルニウム社)は、ブラジル Usinas Siderúrgicas de Minas Gerais S.A. Usiminas(ウジミナス社)のさらなる発展に向けて、新たな運営体制を定めた株主間協定の改定契約、および日本製鉄が保有するウジミナス社株式のテルニウム社への一部譲渡について、3月30日に合意しました。

日本製鉄は、速やかに新たな運営体制に移行し、ウジミナス社の競争力と企業価値向上に向けて、引き続きテルニウム社、ウジミナス従業員年金基金と共同で事業運営を行ってまいります。

広報誌 バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。右記二次元コードよりバックナンバーをご覧ください。



広報誌 無料で定期送付します

ご希望の方は右記二次元コードよりお申し込みください。



読者アンケートはWEBでも受け付けています。

右記二次元コードよりアクセスしてください。

